



山田こうじです！

仁和寺門前上質宿泊施設候補の選定

住民は合意していない！

住民の合意形成



3月31日に「上質宿泊施設候補選定のための有識者会議」が開催され、仁和寺門前のホテル建設に、(株)共立メンテナンスを上質宿泊施設候補として選定しました。

有識者会議の直前の3月22日の産業交通水道委員会では「仁和寺前のホテル建設計画中止等」を求める陳情審査が行われています。合意形成がされた後に行われるのが有識者会議です。住民との合意形成途上での暴挙だと、4月26日の委員会で指摘しました。

担当部長は「合意形成の基準はないが、事業者が努力したことで判断した」と答弁しました。

事業者は「ホテル計画」

事業者は「ホテル計画」に関する資料を配布し、コロナ感染症を口実に説明会を開催していません。

「広く地域住民の声を聞き、仁和寺門前のより良いあり方を考える住民の集い」の皆さんは、配布されたお宅や配布が告知されたお宅を訪問され、106軒のお宅（全住戸の52%）で直接お話を聞かれています。その結果、73%の方々が今回の合意形成の手続きに納得していないと答えています。

事業者が行うポスティングに呼応し、2度目の訪問もされ、88軒の方に直接お話を伺い、71%の住民が「ホテル計画に合意していない」と答え、「合意していない」との回答は5%しかありませんでした。誘致制度を利用しホテルを誘致するなら対面での説明が必要と81%の方が説明会を求められています。

委員会の繰り返し回答で、上質宿泊施設の要件として、「大前提は地

域住民の合意が得られ」「丁寧な合意形成を図っていく」などと繰り返し答弁されています。

「住民の集い」の皆さんが行ったアンケートの結果や、訪問活動の中で出された住民の声を紹介し、まったく合意形成が図られていないことを示して、候補選定は白紙に戻すことを求めました。

住民合意に否を向ける事業者

事業者が行った全280世帯のポスティングの意見照会には37人の意見があり、うち23人がホテル建設に反対という意見でした。

意見を出された方の中でも6割以上が反対の意思を示されています。

直接訪問の中では「もう決まった事と思わされていた」「黙っているからと言って納得しているわけではない」との声が多数でした。

この事業者は、意見照会に応じた37件を中心に訪問し「反対はもうお宅だけ」などと脅す等、合意していない住民には

不誠実な態度を示したという事です。合意形成に逆行する事業者の「努力」を評価し判断するなどありえません。

ところが京都市当局は「280世帯の中で反対は23世帯。23軒を訪問し理解を得ている」と強弁しました。

評価するべき景観を守れるのは住民

有識者会議講評には「長年活動してきた仁和寺門前まちづくり協議会の努力を思うと、計画中止を求める意見が出ていることは大変残念である」とあります。

そのうえで、「選定後も説明を続け…取り組んでいくと宣言した姿勢は評価できる」等としています。

反対意見があり合意形成が出来ていないことを認めています。

「景観を守ろう」と地道に努力している住民の活動こそ評価すべきではないでしょうか。

「住民合意が大前提」どころか誘致前提の特例許可は認められません。

山田こうじです！

NO.249

個人タクシー互助協同組合・協同組合京都個人タクシー協会・協同組合京都個人タクシー昌栄会のみならず、「京都市中小企業等再起支援補助金」について京都市産業観光局に直接要望が届けられました。

京都市当局もタクシー事業者の要望については「再起支援補助金については、幅広く柔軟に支援したい」との回答しました。

京都府商工団体連合会とも懇談しました。長引くコロナの影響で2度目の持続化給付金や、京都市独自の支援、融資についても据え置期間の延長や、税や国保料の減免や支払いの猶予等を強く求められました。

